

平成17年を振り返って 市民のみなさま 市政へのご協力ありがとうございました

1月

- 4日 ●平成17年新年祝賀名刺交換会
市民や行政、県内政財界の関係者ら約1,800人が参加、新年のあいさつを交わし、那覇市の発展を誓い合った。
- 7日 ●平成17年那覇市消防出初式
救難訓練や一斉放水などで防災意識の高揚と一年間の市民の安全を祈願した。
- 8日 ●はたちの記念事業「歩きだそう、自分の道だから」
チャレンジをテーマに、20代・30代のみなさんが、自らの体験を通じた熱弁を繰り広げた。
- 9日 ●平成17年成人式
市内中学校17校区で新成人を中心に、中学校、校区自治会など地域のみなさんと作る実行委員会を主体とした式典が行われた。
- 13日 ●福州市が翁長市長に栄誉市民章を授与
福州市との友好交流に貢献したとして、翁長市長へ福州市栄誉市民章が授与された。
- 26日 ●跳びだせ!市長室



市内の各保育園で子どもたちの健やかな成長と厄除けを願ってムーチーづくりが行われた(泊保育所・18日)

2月

- 9日 ●なはさくらまつり2005(～13日)
- 18日 ●市民説明会「立ち向かう那覇市の行財政運営市民説明会」
行財政改革の取り組みと平成17年度の予算案についての市民説明会を、パレット市民劇場で開催。会場に入りきれないほどの多くの市民が訪れた。
- 22日 ●第27回那覇の物産展(～28日)
市の商工業の振興・発展と販路拡大を図ることを目的に27回目となる物産展が開催され、健康食品や黒糖菓子、琉球ガラス、草木染などの工芸品の展示即売コーナーが人気を集めた。
- 23日 ●跳びだせ!市長室
沖縄なはこども劇場で、「次世代を担う子どもたちが健やかに成長するために今!大人は何をすべきか」をテーマに意見交換が行われた。



翁長市長自ら、行財政改革と予算案について説明。会場には多くの人々が訪れた(18日)

3月

- 4日 ●第3回那覇平和芸術祭「ふれあいジャズフェスティバル」
市民が等しく平和を願い愛する心を、ジャズを通して県内外に発信することを目的に開催された。
- 6日 ●第17回那覇市民児童大会
スポーツを通して、児童の健全な心身を育む目的の下、市内の小学校やスポーツ少年団から56チーム・約480名が参加し健闘を競った。
- 13日 ●国際通りトランジットマイル実証実験
商店街の活性化や高齢者や障害者にもやさしいまちづくりをめざしたトランジットマイル実証実験が実施された。
- 24日 ●知的しょうがいネットワークが開所
末吉消防跡に自閉症や自閉的傾向の知的障がいにも対応できる県内初の施設「知的しょうがいネットワーク そうせい」が開所した。
- 30日 ●国勢調査那覇市実施本部設置(10月1日から調査開始)
- 31日 ●東京事務所の廃止
三位一体に伴う行財政改革の一環として、沖縄の本土復帰の年に開設された東京事務所が廃止された。



最高気温が12.4度とかなり冷え込んだが、家族らの“熱い”声援を背に熱走を見た(6日)

4月

- 1日 ●那覇市上下水道局を設置
市民サービスの向上と経営の効率化、組織の合理化の推進を目的に、水道事業部門と下水道事業部門を統合し「那覇市上下水道局」を設置した。
- 2日 ●繁多川公民館・図書館が開館
- 3日 ●2005波の上ビーチ海開き
●壺屋でシーサーの日!宣言
- 4日 ●銘苅小学校・幼稚園が開校
市内36番目の小学校として開校。安謝、真嘉比、松島、泊の4校から転校してきた2年生から6年生と、入学してくる新1年生の合わせて513人で新学期をスタートした。
- 11日 ●親泊康晴前市長死去(4月26日付けで名誉市民の称号を授与)
1984年から4期16年間、那覇市長を務めた親泊康晴氏が死去。
- 14日 ●興南高校男子ハンドボール部に那覇市青少年特別賞
- 27日 ●市長リレー出前トーク
協働のまちづくりを進めて行くため、自治会などを対象に市長が直接向いて、市政の説明や意見交換などを行う市長リレー出前トークがスタート。



太陽光発電と風力発電機の設置のほか雨水利用など環境に優しい校舎で新学期がスタート(4日)

5月

- 3日 ●第31回那覇ハーリー(～5日)
- 14日 ●にぎわい広場オープン
休憩施設や、各種催し物に対応するイベント広場、駐輪場、トイレなども整備。チャレンジショップ、エコショップも併設した広場がオープンした。
- 17日 ●国保税滞納者一覧表の一部流出
裁断処理など適切に処理されるべき滞納者一覧がコピーの際に誤って再利用され、外部へ流出。翁長市長が記者会見でチェック体制の強化と再発防止を表明した。
- 18日 ●下水道使用料の過徴収
平成16年4月分から平成17年3月分までの間の下水道使用料の算定、徴収事務で誤処理があり過徴収が発生。記者会見で市上下水道事業管理者が謝罪した。
- 20日 ●那覇市制施行84周年記念式典
- 21日 ●「こどもの街宣言」那覇こどもまつり
- 23日 ●狂犬病予防接種通知の発送漏れ
飼犬の登録台帳を年度を間違えて使用し、狂犬病予防接種の告知文書を作成したため、1163人分の送付漏れが発生。環境保全課では同日までに、送付漏れ者全員に対し、告知文書を発送した。
- 30日 ●こみゼロキャンペーンin銘苅小学校



子どもたちが心も体も健やかに育つことを願い、児童福祉週間の一環として行われた(21日)

6月

- 2日 ●小型電気自動車導入セレモニー
市民へクリーンエネルギー車を普及・促進する際の基礎データを収集するために、環境にやさしい電気自動車を3か月間、モデル導入した。
●財団法人那覇市育英会設立
専門学校や大学に通う学生に奨学金を貸与している那覇市育英会が財団法人化された。
- 23日 ●戦場だった識名園
沖縄戦終結60年の追悼式典が国指定特別名勝識名園で行われたほか、市内の図書館では、慰霊の日特集として沖縄戦関連資料の展示やビデオ上映、講演会などが行われ、子どもたちがあらためて、戦争の悲惨さ、平和の尊さについて学んだ。
- 29日 ●「塩漬け土地」問題で市長が記者会見
那覇市都市開発公社が「経営健全化団体」に指定されたことから、公社が保有する新都心の新庁舎候補地を含む8件の「塩漬け土地」を5年間で買い取っていく方針であると発表。それにより、新都心での新庁舎建設は「相当、厳しくなった」と述べた。



戦没者の冥福を祈り、この世界から全ての戦争を絶つことを願って黙祷を捧げた(23日)

7月

- 1日 ●桜坂劇場オープニング
- 8日 ●7月8日は「なはの日」
7月8日を「なはの日」と定め、多くの人が那覇について語り、那覇のことを思い、那覇を愛し、那覇のために出来ることを行い、那覇を再認識しようと呼びかけ、市内各地で多彩なイベントが開催された。
- 14日 ●霧の噴水点灯式
おもろまち駅前の新都心公園に県内初の「霧の噴水」が誕生。噴き出す霧を鮮やかな色に変化するランプが照らし、幻想的な空間を出現させた。
- 21日 ●健康な21シンポジウム開催
個人が主体的に取り組む「健康の実現」はもちろんのこと、社会全体として「健康づくり」を支援していくための那覇市民の健康づくりプラン「健康な21」が策定された。
- 28日 ●市教育委員会が学校選択制導入
県内で初めて、従来の指定通学区域の学校のほかに、2～8の隣接する小学校への入学を選択制することができる学校選択制を導入すると発表した。



噴出する霧と変化するライトが幻想的な空間を演出する(14日)

8月

- 2日 ●第4回なはハーブまつり
生活にやすらぎと潤いを与えるハーブのさらなる普及をめざし、第4回なはハーブまつりが開催された。
- 4日 ●平成17年度那覇市観光功労者表彰式
那覇市の観光振興の発展に尽くした功績が特に顕著であると認められた8個人・2団体を、観光功労者として表彰した。
- 7日 ●一万人のエイサー踊り隊
- 12日 ●第4回那覇平和芸術祭
「響けていーくさんしん平和のうた」社会人で構成される「なは・センセーション」3期生のメンバー140人が那覇市芸術監督の平田大一さんと空手家の豊見城あずささんの指導を受けた開演や空手の演武の発表が行われた。
- 21日 ●市役所本庁舎移転問題で要請相次ぐ
市役所本庁舎の位置について、現在地での継続要請や新都心地区への移転要請が地元商店街や自治会関係者などから相次いだ。



サマーボランティア2005
市内の児童生徒らが、夏休みを利用して障害者支援施設などでボランティア活動を行った(1日)

9月

- 9日 ●平成17年度那覇市救急フェア
- 13日 ●上下水道局庁舎が着工
●市内小中学校でのアスベスト使用が判明
市内の小中学校で使われている調理器具の断熱材にアスベストが使われていることが、市教育委員会の調査で分った。市教育委員会では「早急に環境測定調査を実施し、改善策を講じる」とした。
- 19日 ●那覇市高齢者慶祝訪問
- 20日 ●「こども局」(仮称)の設置を検討
就学前の子どもたちに関する事務・事業を一元化し、子どもたちのための施策をスピーディに展開することを目的に、「こども局」設置の検討に入った。



救急医療と救急業務に対する市民の理解と認識を深めることを目的に開催された(9日)

10月

- 6日 ●平成17年度個人市・県民税で課税ミス
課税計算プログラムで端数処理に誤りがあり、1万4千件余りに課税ミスが発生。税務部長が謝罪するとともに、20日までに対象者に通知するとした。
- 8日 ●第35回那覇まつり(～10日)
- 14日 ●市長が会見で市立保育所6か所の民営化を表明
民間活力を利用して、保育サービスの充実と待機児童の解消につなげたいと、来年4月の2か所に加え、2007年度から2009年度までにさらに6か所の保育所を民営化すると発表した。
●3か幼稚園施設閉鎖
市教育委員会は、市内の4つの幼稚園・小学校で、国の規制値を超えるアスベストの使用が確認された施設を閉鎖したと発表した。
※その後の空気環境調査の結果、飛散量が大气污染防治法の基準内であると判明、閉鎖は解除された。
- 16日 ●那覇市民会館開館35周年記念コンサート
- 18日 ●第1回なは市民芸術展
- 29日 ●平成17年度那覇市地震・津波避難訓練



芸術文化の向上・発展並びに芸術に対する創作活動の奨励・普及を高めるために実施された(18日)

11月

- 3日 ●首里文化祭
- 6日 ●2005那覇市環境フェア(2面に関連記事)
- 9日 ●てんぶす那覇開館1周年記念式典
●てんぶす・桜坂フェスタ2005(～13日)
- 13日 ●第23回障害者運動会
- 14日 ●職業紹介コーナーすみれ開所
母子寡婦家庭の就職支援を目的に、市総合福祉センター内に職業紹介コーナーすみれが開所した。
- 15日 ●新ごみ焼却炉火入れ式
1日450トンの焼却能力、灰溶融炉が1日52トンの処理能力、発電容量が8,000キロワットと県内最大の処理機能を持った新ごみ焼却炉の火入れ式が行われた。
- 26日 ●サウンドレインボー・アジアの人々とともに(3面に関連記事)



4月1日から本稼働に備え、昨年12月1日からはテスト稼働もはじまった(15日)

12月

- 1日 ●ごみの分別方法変更(プラスチックなどもやすごみへ)
- 4日 ●第21回NAHAマラソン(1面に関連記事)
- 2日 ●第3回那覇市障害者美術展(～4日)

協働

市では、市民のみなさまや市民団体、事業者のみなさんを、まちづくりのパートナーと位置づけ、市民ニーズや新たな地域課題に対応し、一人ひとりの「市民が主役のまち」を実現するため、市民・地域の知恵と力が生きる協働と参画によるまちづくりを提唱してまいりました。
昨年は、その趣旨に賛同いただいた、市民のみなさまや市民団体、事業者のみなさんから、道路・公園の管理、地域防犯、まちづくりへの提案などで、多くのご協力を得ることができました。

